

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3142526号
(U3142526)

(45) 発行日 平成20年6月19日 (2008. 6. 19)

(24) 登録日 平成20年5月28日 (2008. 5. 28)

(51) Int. Cl.

F 1

B 6 5 F 1/14 (2006. 01)

B 6 5 F 1/14

C

A 4 7 K 10/20 (2006. 01)

A 4 7 K 10/20

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-808 (U2008-808)
(22) 出願日 平成20年1月18日 (2008. 1. 18)(73) 実用新案権者 508048171
三宅 眞佐子
岡山県玉野市築港2丁目32番26号
(72) 考案者 三宅 眞佐子
岡山県玉野市築港2丁目32番26号

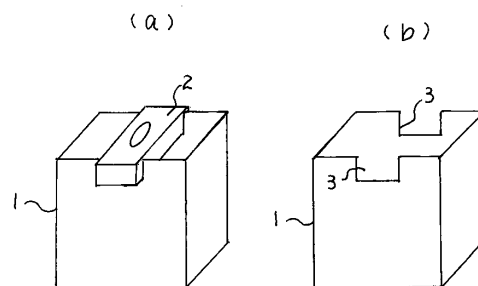
(54) 【考案の名称】 箱型ティッシュペーパー収納付くず入れ。

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】従来のくず入れに加えてティッシュペーパーの箱を保持させることによって、ティッシュペーパーを使用後すぐに捨てることが出来、なお且つ置場所もとらないので便利である。

【解決手段】家庭用くず入れの対面する2面に市販の箱型ティッシュペーパーの断面の大きさを切り取り、そこに箱型のティッシュペーパーを入れ、くず入れと一体となるようにするものである。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

家庭用くず入れの対面する 2 面に市販の箱型ティッシュペーパーの断面の大きさを切り取り、そこに箱型のティッシュペーパーを入れ、くず入れと一体となるようにした箱型ティッシュペーパー収納付くず入れ。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

箱型のティッシュペーパーを収納できるくず入れである。

【背景技術】

10

【0002】

従来のくず入れは、単にティッシュペーパーなどを捨てることのできる開口部があるのみであった。

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

従来のくず入れに加えてティッシュペーパーの箱を保持させることにより、ティッシュペーパーを使用後すぐに捨てることが出来、なお且つ置場所もとらない。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

20

ティッシュペーパーを使用する際くず入れを必要としますが、その 2 つをセット化することで便利さとスマートさを兼ね備えたものであり、切れ込みの位置はくず入れの中央、端等くず入れのデザインによって自由に入れられるようにした箱型ティッシュペーパー収納付くず入れである。

【考案の効果】**【0005】**

ティッシュペーパーの箱とくず入れを一体化することにより、ティッシュペーパー使用後にすぐに捨てることが出来て便利である。また、2 つを 1 つにまとめることによってティッシュペーパーの置場所も確保されるので、場所をとらないものである。

【考案を実施するための最良の形態】

30

【0006】

家庭用のくず入れの対面する 2 面に市販のティッシュペーパーの箱の断面の大きさの切れ込みを入れ、そこにティッシュペーパーの箱を入れ、くず入れと一体となるようにした箱型ティッシュペーパー収納付くず入れである。ティッシュペーパーの使用後、くず入れを必要としますが、その 2 つをセット化することで便利さとスマートさを兼ね備えたものであり、切れ込みの位置はくず入れの中央、端等くず入れのデザインによって自由に入れられるものである。ただし、くず入れをふさいでしまわないほうが使いやすく便利である。

【実施例】**【0007】**

40

箱型ティッシュペーパー収納付くず入れ、図 1 . 1 . くず入れ本体開口部上面中央に 2 . ティッシュペーパーの箱が保持されるように 3 . の形状に切り取る。図 2 . 1 . くず入れ本体開口部上面端に 2 . ティッシュペーパーの箱が保持されるように 3 . の形状に切り取る。

【図面の簡単な説明】**【0008】**

【図 1】(a)(b) は第 1 実施例の斜視図である。

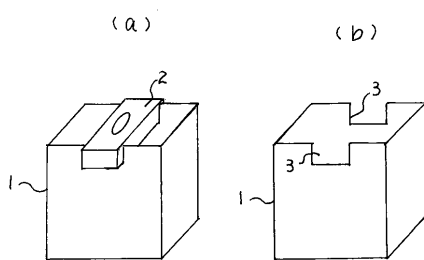
【図 2】(a)(b) は第 2 実施例の斜視図である。

【符号の説明】**【0009】**

50

1. くず入れ 2. 箱型ティッシュペーパー 3. 切り取り部

【図 1】



【図 2】

